

どうして外部委託や？

矛盾承知で多数賛成か？

7月13日臨時議会が開催され、6月議会で撤回に追い込まれた平成30年度一般会計補正予算の再提出、甲良総合行政情報システム運用管理機器更新の契約締結の2議案が提案されました。一般会計補正予算は賛成7 岡田、田中、野瀬、阪東、宮寄、木村、建部の各議員、反対4 由田裕康、山田充、西川、西澤の各議員で可決。丸山議長は裁決に加わらず。「一般会計補正予算の審議に関わる内容をお知らせします。」

西澤議員は質疑・討論を通して、業務内容のほとんどが

西澤議員の話し

行政内部で可能なこと、とりわけ「行財政改革」の計画を外部に委託しても、その実行は町長・幹部職員であり、魂が入らない恐れが強いこと、また公共施設等整備に係る基本計画策定 町説明Ⅱ防災センター建設中止後の整備計画は内部の検討委員会です。ほとんどが出来上がっており、外部委託など必要ないことなどを改めて指摘。野瀬町長の「改革理念」があやふやであることの表れだとして外部委託する予算は容認できない、住宅リフォーム補助の追加など住民の要求に基づく予算は「専決処分」で対応すべきなどと発言しました。

前号の甲良民報でお知らせしたように、ほとんどが職員で可能な業務を外部委託としたため、多くの議員の追及を受け、野瀬町長は「必要額」と「不用額」に区分した苦肉の修正案を6月議会最終日に提示。不用額を含めて議決し、次期議会でも不用額は減額補正すると説明し、矛盾・不具合を隠し切れずに撤回に追い込まれたのです。甲良町行政では「余分な金額」も「予算ワケ」として確保しておくと言う悪しき慣習を残しているのでしょうか。このような予算の決め方を議会が許せば、過大支出も議会が容認したことになります。

「賛成」の裏で何が？

ところが7月臨時議会で、さ

らに精査すれば、そのほとんどが内部事務で可能な業務までも外部委託することを承認する事態となったのです。賛成討論で、ある議員は、公正な入札を条件とし、この予算執行前に外部委託内容を議会に説明し、了承を求めることまで要求。またある議員は公正な執行を条件として賛成すると「条件付き賛成」とまで表明。

これらの経過から見ても、外部委託の矛盾・不合理を知りつつ、野瀬町政に貸をつくらせたいと受け取れる「賛成」討論でした。

外部委託で

個人情報情報が危ない

そもそも、今回の外部委託案件は行政事務の一部を民間企業に請け負わせる「アウトソーシング」ことも計画されており、町民のプライバシー・個人情報情報が漏えいする危険もはらんでいます。日本の町にする」とぶち上げた野瀬町長の公約はどこに行っただ？といぶかる声が聞こえてきそうです。

※ 会計年度任用職員制度とは

法律上、「一般職の非常勤職員の任用等に関する制度が不明確であることから、採用方法や任期等を明確化するもの。」

坂井雅博氏 自治

労連新潟公務労働

組合委員長氏によれば、一住民の命とくらしを守り地方自治の担い手である

地方公務員制度の大転換です。公務運

営のあり方そのもの

も、変質させる危険

を含んでいます。

―と警告されています。

―と警告されています。

各種支援業務委託の内容 (予算合計約 744 万円)

(町提出の資料より)

Ⓐ 事実検証に関する第三者委員会運営支援業務委託＝124万2千円

目的：公金横領発覚後の職員の内部問題を検証＝決算処理、税務課の2000件削除など6種類を対象。

Ⓑ 行財政改革支援業務委託＝204万2千円

目的：事業縮小、削減（事業仕分け）を行い、平成31年度予算に反映する。

Ⓒ 会計年度任用職員制度移行支援業務委託＝88万6千円

目的：平成32年度開始の会計年度任用職員制度（※説明別掲）に向けて、事業仕分け後の業務について、外部委託できる部分を除き、会計年度任用職員が行う業務の洗い出しを行う。

Ⓓ 包括外部委託選定支援業務委託＝43万2千円

目的：事業仕分け後の業務で外部委託できる業務を選定し、仕様書の作成検討を行う。

Ⓔ 公共施設等整備に係る基本計画策定支援業務委託＝284万400円

目的：甲良町公共施設等検討委員会による「基本方針」後の個別施設の具体化計画の策定。

甲良民報

2018年7月29日 737号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士463（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123 松元たけし 38-3875

◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】